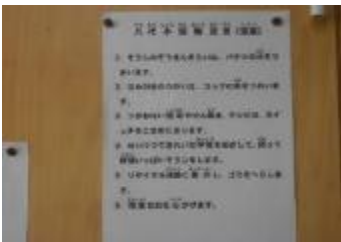






管内	市町村	学校名
八代	八代市	八代市立八代小学校

1 取組の概要

項目	活動の様子 (写真)	取組の実際
宣言		<p>めあての掲示</p> <p>「節電、節水、ゴミの減量、整った環境（緑化活動、清掃活動）」の観点で宣言を作り、各教室に掲示をした。児童の目につく場所に掲示し環境にやさしい生活をする意識付けになるようにした。</p>
行動	   	<p>節電・節水</p> <p>それぞれの学級で、係活動に電気係を設けたり、他の教室で学習するときには消灯したりする等、児童が意識して行えるような節電に取り組んでいる。職員室でも、使わない電灯や空調等の節電に取り組んでいる。</p> <p>節水に関しては、掃除のときバケツを利用することや、歯磨きのときコップを利用する取り組みを行っている。また、委員会で作ったポスターを貼り、啓発も行った。</p> <p>ゴミの減量・リサイクル活動</p> <p>職員室や印刷室に、「リサイクル用紙」置き場が設けられ、印刷時の裏面使用の徹底が図られている。</p> <p>アルミ缶の回収が PTA の活動の一環として毎月第 1、第 3 水曜日及び美化作業のときに行われている。環境委員会も保護者と協力して家庭から出るアルミ缶の回収を進めている。環境委員会が全校児童に回収を呼び掛けることで、児童だけでなく、家庭のリサイクルに対する意識が高まっている。</p> <p>また、環境委員会によるペットボトルキャップ集めも行っている。給食時の放送等で呼びかけを行い、金曜日に教室を回ってキャップを回収している。集めたキャップは、海外の子どもたちの予防接種ワクチン購入のために使われるようになっている。</p>



緑化活動

みどり委員会が中心となって、花の苗植えやその世話等の活動に取り組んでいる。毎朝、当番を決めて職員玄関前の花や苗の世話や校内の花壇の草取りや植え替えなどの活動に取り組んでいる。今年は、昨年を引き続き、職員玄関から事務室、家庭科室前の一面にゴーヤを植え、みどりのカーテン作りにも取り組んだ。日陰を作ることによって節電効果があった

また、学年に応じた栽培活動も行っている。

残食〇に対する取組


学級ごとに、食べることの大切さや、給食に感謝の気持ちを持って、残さず食べることの指導を行っている。また、給食委員会による残食調べや給食週間の取組などで残さず食べることに関する啓発活動も行っている。

清掃活動

「時間いっぱい・すみずみまで・きれいに」を目標に掃除に取り組み、掃除の終わりには掃除の班ごとの反省を行うなど、掃除の仕方の改善につなげる活動も学年に応じて行っている。また、環境委員会の活動として、毎週月曜日の朝、校内のゴミ拾いを行っている。

環境学習

5年生は、水俣市の環境学習に取り組み、社会科や総合的学習の中の環境問題学習への理解へと繋げている。4年生は、「次世代に向けてがんばろう会」の方をゲストティーチャーとして招き、環境教室を行った。ゴミの分別の体験学習等を行い、ゴミの問題について学習を深めた。また、水の問題についても学習することで、自然や環境を守ることの大切さやそのための工夫を学んだ。

<p>記録</p>		<p>水・電気の使用量</p> <p>前年度との比較をすることで、今年度の活動状況の点検を行った。</p> <p>水、電気ともに使用量が昨年度を下回り(水の使用量40%減、電気の使用量4%減)、節水、節電に対する意識が高まったことが感じられた。</p> <p>環境宣言に対する評価</p> <p>環境委員会の取組として、月の終わりに各クラスで環境宣言内容について評価をしてもらい、よくできているクラスの発表を行ったり、学校全体の傾向を考察して放送したりしている。また、その結果を踏まえて、次の月の委員会の目標を決め、活動に移している。</p>
<p>見直し</p>	<p>節電・節水に向けて</p> <p>前年度は漏水があり、正確な比較はできなかったが、環境委員会による呼びかけや環境チェックなどもあり、節水に対する意識は高まりつつある。しかし、まだ水道の水の出しっ放しや必要のない水の使用を時々見かける。また、節電に対しても同様で意識は高まっていると思われるが、トイレや使わない部屋や廊下等の照明の消し忘れなどがときどきある。今後は、それらの反省を含め、児童・職員ともに意識を高めるような啓発を行っていく。</p> <p>無言清掃活動</p> <p>各クラスでそれぞれ時間いっぱいしゃべらずに掃除をするという指導はされているが、全体での徹底はできておらず、児童自身の評価もあまり高くはないので、今後、学校全体で無言清掃に対する取組を検討したり、委員会活動での取組も考えたりして意識を高めていきたい。</p> <p>ごみの減量・リサイクル活動</p> <p>ごみの減量に関しては、裏紙の利用、職員会議資料のデータ化などを行い、紙資源の無駄遣いをなくすように心がけている。しかし、雑巾を使わずに無駄にティッシュペーパーを使ったり、余った紙や物を簡単に捨てたりする姿も見られる。リサイクルに対する意識もあまり高いとは言えないので、今後、委員会活動や学級通信等を活用して呼びかけをしたり、結果報告をしたりするなど目に見える形での啓発をするような取組を考えていきたい。</p>	

2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境学習や環境に関わる活動がそれぞれの学年で位置付けられており、日直や係に消灯の役目を設けたり、歯磨きはコップを使う、掃除のときにバケツを使ったりするなど、節電や節水に関して学んだことをもとにした取組がなされている。 ○ 委員会活動において、「その委員会としてできる活動を」という姿勢で、環境委員会やみどり委員会、給食委員会を中心に活動を進めることができた。 ○ アルミ缶回収では、PTAや地域との連携を通して、多くの缶を集めることができた。 ○ 緑のカーテン作りでは、みどり委員会を中心として苗を植えたり、水やりなどの世話をしたりすることで環境に対する意識を高め、グリーンカーテンコンテストで優秀賞を受賞した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まだ環境問題に対する意識の個人差があり、取り組み方に差が見られる。個々の児童の意識や実践力を伸ばしていくためにも、学年の段階や児童の実態等を考慮した、環境学習の計画の見直しや改善及び日々の啓発活動を続けていくことが大切である。 ○ 教室を離れる時の消灯はできている学級が多い。しかし、トイレや廊下等の消灯の忘れが目につく。最後に使ったら消灯していく児童、気が付いたら消灯する職員や児童を増やしていく取組を進めていきたい。 ○ 指導していく教職員の環境問題への実践力を高めることも必要であると思われるが、環境教育の内容に対して検討したり、研修したりする時間の確保が難しい。